

家庭でできるecoな暮らしを

はじめてみましょう

長久手市
ゼロカーボンシティ宣言
2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指します。

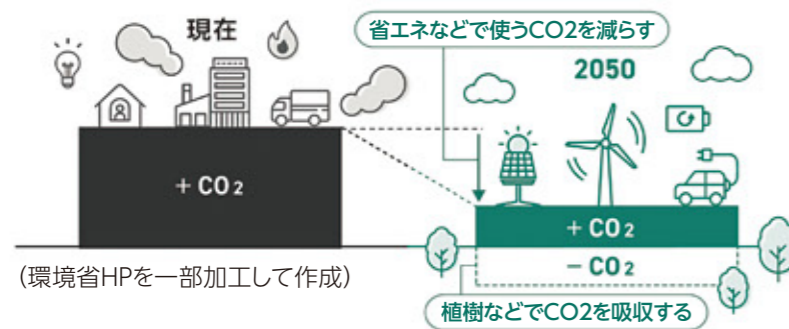
環境課 ☎56-0612

長久手市では、2050年までに「カーボンニュートラル(二酸化炭素(CO2)をはじめとする温室効果ガスの排出を実質ゼロにすること)」を目指しています。最近よく耳にする「カーボンニュートラル」という言葉の意味や、市民のみなさんにできるecoな暮らしを紹介します。

カーボンニュートラルとは

カーボンニュートラルとは、わたしたちの暮らしのために排出されるCO2の量から、植樹などによる森林が吸収するCO2の量を引いたとき、答えが「ゼロ」となる状態です。

カーボンニュートラルの実現には、わたしたち一人ひとりが、使う電気をできるだけ少なくすることを通じて、排出されるCO2をできるだけ減らすことが必要です。



地球温暖化が進むと・・・

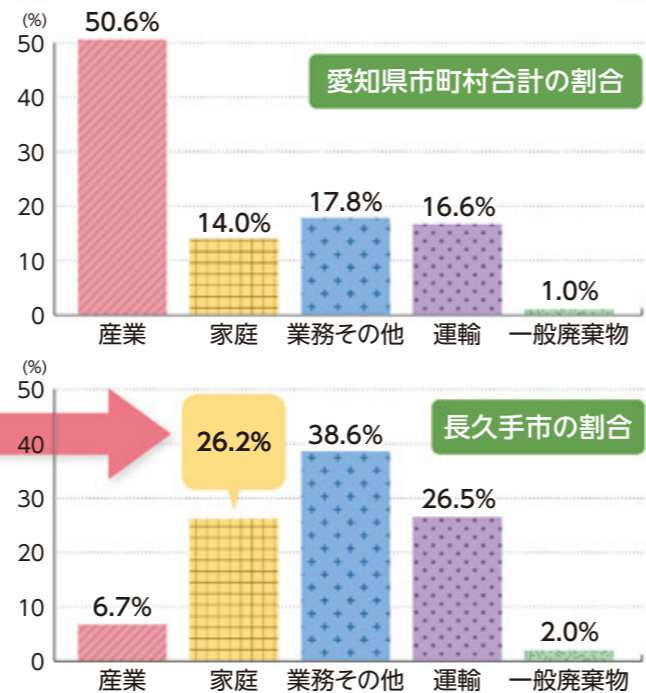
- ・台風が大きくなったり、大雨や干ばつなど、大きな災害が増えます。
- ・熱帯地方で多い、マラリアやデング熱などの伝染病が増える可能性があります。



長久手市の現状

長久手市における暮らしのために排出されるCO2の量は、2017年度には280,000トンです。排出量の割合を部門別にみると、愛知県全体と比べて、産業(工場等)の割合が低く、業務その他(商業、サービス、事業所等)、家庭、運輸の割合が高いことが本市の特徴となっています。長久手市では市民一人ひとりの取り組みがカーボンニュートラル達成に大きく関わっています。

2017年度の部門別排出量割合の比較 (環境省資料より作成)



全体 **280,000トン** (2017年度)
うち 家庭部門 **73,360トン**

一人あたり1年間に約**1,277kg**のCO2が排出されています。(2017年度末現在人口57,466人より試算)

ecoな暮らしのアイデア例

参考文献:省エネポータルサイト

暖房器具 設定温度を21℃から20℃にするなど、適切な温度設定を

エアコン	ガス・石油ファンヒーター	電気カーペット	こたつ布団
室外機のまわりに物を置かない。	早めのOFFが決め手。	断熱マットで効率アップ。	上掛と敷布団をあわせて使う。

電子レンジ

野菜の下ごしらえに電子レンジを活用。

- 葉菜(ほうれん草、キャベツ)の場合

ガスコンロから電子レンジに変えた場合

CO2削減量**12.2kg** 年間約**990円**の節約

洗濯機

洗濯物は**まとめ洗い**を(回数半分)。

CO2削減量**2.9kg** 年間約**4,510円**の節約

お風呂の残り湯を利用しましょう。すすぎは注水すすぎより、ためすすぎで。

ミニecoチャレンジに参加しよう!

参加できるコース (両方にチャレンジできます。両方チャレンジすると抽選に当たるチャンス大!)

省エネ生活チャレンジ	Noマイカー通勤チャレンジ
自宅の主要なエネルギー(電気またはガス)の使用量を前年同月より減らす(契約電気会社で手続きすると、過去の使用料が確認できます)。	自家用車で通勤する日数を 普段より30%減らす (市内在勤者も参加できます。雨の日などは、計算から除外できます)。

チャレンジ期間 2023年1月～ 1か月間

賞品 交通ギフト券1,000円分
達成した人の中から、抽選で500人にプレゼント(参加賞あり)

申込 1月15日(日)までに右の二次元コードからエントリーしてください。環境課窓口で申込可。

前回のecoチャレンジ挑戦者の声

自転車で通勤するようになってから、普段も自転車を使うようになり、自然と環境を意識するようになりました。

